

さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会 令和6年度第1回会議 会議結果

- 1 会議日時 令和6年5月28日(火) 18:30～20:00
- 2 会議場所 さぬき市寒川庁舎 多目的ホール
- 3 出席者 [委員] 南 篤・為國真理・植村麻里・宮本明子・宇山真奈美・
防越一美・穴田美知子・谷風恭子・神前政季・都築昌悟・
清原真規子・辻よしみ・中川勝幸
[事務局] 木田恵美子(大川地区医師会在宅医療介護連携支援センター相談員)、真部哲男(課長)・伊藤英樹(所長)・藤田宏江(課長補佐)
[傍聴人] 0人
- 4 議 題 (1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について
(2) 令和6年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について
(3) 在宅医療・介護普及啓発講演会(6月30日)について
(4) 「日常の療養支援(認知症の人の支援)」場面について
- 5 資 料 さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会令和6年度第1回資料

6 会議要旨

発言者	意見概要
(事務局)	<p>(開会)</p> <p>本協議会は、地域の医療・介護関係者に参画いただき、在宅医療・介護連携の課題の対応策についての検討することを目的として設置している。</p> <p>本日の会議は、委員改選後の最初の会議となる。委員の任期は、本協議会の設置要綱の改正により、令和9年3月31日までの3年間となっている。よろしく願います。</p> <p>(長寿介護課長挨拶)</p> <p>(自己紹介)</p>
(事務局)	<p>(会長及び会長職務代理の選任)</p> <p>議題(1)「会長及び会長職務代理の選任について」、設置要綱第5条の規定により、本協議会には「会長」及び「会長の職務を代理する委員」を置くことになっており、会長は、委員の互選により定めることとされている。意見はないか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>事務局の案として、会長は、大川地区医師会理事の南委員にお願いしたいと思うがいかがか。</p> <p>(委員、南委員の承認あり)</p>
(事務局)	<p>会長は、大川地区医師会理事の南委員に願います。</p> <p>会長の職務を代理する委員は、会長があらかじめ指名する委員とされている。南会長いかがか。</p>
(会長)	<p>香川県立保健医療大学教授の辻委員に願いたい。</p> <p>(辻委員の了承あり)</p> <p>(南会長挨拶)</p>
(事務局)	<p>会長がこの会議の議長となるため、議事の進行は南会長に願います。</p>
(議長)	<p>(議事進行)</p> <p>議題(1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について、</p>

<p>(事務局)</p>	<p>議題（２）令和６年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について、事務局から説明を求める。</p> <p>（事務局説明 議題（２）令和５年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について、議題（３）令和６年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について、資料より説明を行う。令和５年度「医療・介護普及啓発講演会」について、大川地区在宅医療介護連携支援センターのホームページ改修については、追加説明を行う。）</p> <p>（部会設置及び部会委員の指名）</p> <p>（事務局説明）</p> <p>令和５年度第２回協議会において、令和６年度より、研修部会を設置することとなっているがよろしいか。</p> <p>（委員の承認あり）</p> <p>研修部会委員は、協議会委員のうち協議会が指名したものであるが、意見はあるか。</p> <p>（意見等なし）</p> <p>事務局の案として、令和５年度研修部会準備会として依頼した、南委員、宮本委員、穴田委員、都築委員、清原委員にお願いしたいと思うがいかがか。</p> <p>（委員、指名委員の承認あり）</p> <p>研修部会委員をお願いする。</p> <p>令和６年度は、「医療・介護関係者の研修（市独自研修）」に係る協議を予定している。</p>
<p>(議長)</p>	<p>意見や質問があればお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>「緊急医療情報キット」について、数年前に色々ところで作成されたが、情報の更新がされていないことが多かった。香東園在宅介護支援センターでは、半年ごとに情報の見直しを行っている。薬の内容や緊急連絡先が変更となることも多い。情報の更新がされるよう作成してもらえればと思う。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>情報の更新がされていることは課題。この事業は、民生委員やケアマネを通じた周知を主に予定しており、関係者の協力を得ながら、進めていきたいと考えている。</p>

(委 員)	「医療情報キット」の情報の更新は具体的にどのように考えているか。
(事務局)	「医療情報キット」は、周知、啓発事業として希望する人が活用することを想定している。1年に1回は情報の見直しの周知を行う。情報の更新が難しい人は、関係者の協力を得て、更新の支援ができればと考えている。
(委 員)	「在宅医療介護支援センターホームページの改修」について、どのように改修したのか。検索方法はどうか。ホームページの更新はどう予定しているか。
(事務局)	<p>支援センターのホームページとして開設した。内容は、綾歌地区の支援センターのホームページを参考にした。地域の医療情報は、医師会と協議し掲載に至った。「お知らせ」には、6月の講演会の案内も掲載している。今後、情報の発信ができるようなホームページにしていきたい。</p> <p>ホームページは、大川地区医師会か、同支援センターの検索で閲覧できる。</p> <p>ホームページの更新は、イノベート（契約事業者）に依頼することになり費用が発生する。「お知らせ」は、木田相談員で掲載できるので費用面も考えて、情報の更新、発信を予定している。</p>
(委 員)	ホームページは、更新がないと見なくなる。アクセス数などもチェックするとよい。色々な人が見えてくれて情報の発信につながる。活用しやすい情報の発信になればと思った。
(議 長)	<p>その他に、意見や質問はないか。</p> <p>ないようであれば次に進める。</p> <p>議題（4）在宅医療・介護普及啓発講演会について、事務局より説明を求める。</p>
(事務局)	（事務局説明 議題（4）在宅医療・介護普及啓発講演会について説明する。）
(議 長)	意見や質問があればお願いします。

(委 員)	今回の講師は、講演会等の活動を SNS で発信している。講演会に参加していない人にも知ってもらうためにも、講師に依頼してはどうか。
(事務局)	講師は多忙と伺い依頼は難しい。当日、委員の面会は可能と思われるので、確認できれば同委員に連絡する。
(議 長)	<p>その他に、意見や質問はないか。 ないようであれば次に進める。</p> <p>「日常の療養支援（認知症の人の支援）」場面について、事務局から説明を求める。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 日常の療養支援（認知症の人の支援）場面について、意見交換の目的、テーマ（医療・介護の連携課題と対応策について、研修内容について）、進行（グループの意見交換、発表）の説明を行う。)</p> <p>(各グループの意見交換)</p> <p>(発表)</p>
(委 員)	<p>認知症の人の支援について話し合った。個々のケースは多様でケースに応じた支援が重要。例えば、介入時は不安定であったが、サービスの人と顔なじみの関係を作ることによってサービスの利用につながったケースの紹介があった。認知症の人は、サービス利用までに時間を要することが多い。本人は困っておらず、家族や周囲が困りサービス利用を勧めるが、サービス利用を嫌がり不安や拒否感が強くなるケースがある。環境変化への対応も難しい。急激な変化を避け、環境に慣れるまでそろそろとした関わりが要る。また、介護保険はできる範囲が決まっているので、柔軟な対応や、地域の目が大切になる。連携づくりが大切になる。ただ、50歳、60歳代が介護する世代となっているが、仕事を持っていたり、地域との関わりが少なく地域の支援者になりにくい状況がある。地域を育てていく必要性があるとの話もあった。</p>
(委 員)	<p>前回の資料より、薬局で認知症と思われる人をどこにつないでよいかわからなかった話題から話し合いとなった。その中で、さぬき市民病院の「わたしのカルテ」の紹介があった。このカルテは、希望する方に診療情報やケアマネなどの情報が、家族が見てもわかるような形で掲載され配布して</p>

	<p>いると聞き、家族だけでなく、ケアマネやサービス事業所なども共有できると認知症の人も含めよい支援につながるの話になった。有益な情報を本人の同意のもと、本人のために活かすにはどうしたらよいかと話し合う中で個人情報の問題があった。支援に必要な情報であっても開示されない、教えてもらえないことがある。認知症の研修では、個人情報について、本人の同意を得て活かすこと、情報の共有が重要であることを再認識するような研修になればとの話になった。認知症の人は、人との関係性や安心できる場所が大切であり、そのアプローチにも活かせると話し合った。</p> <p>(総評)</p>
(委員)	<p>今回、認知症の人の支援ということで、個人情報のところで支援の難しさがあった。認知症の人に仕事として関わっているが、隣人や地域では関わりの取りにくさが話し合いでもでた。個人情報の問題もあり、つながりの難しさを思った。</p>
(委員)	<p>顔なじみをつくる、近隣との関係をつくるということが普段から大事と感じていて、住民全体に伝わっていく必要がある。ポピュレーションアプローチとしてそういう取り組みが必要になるかと思った。グループの話し合いでは、認知症の人だけではないが、自分のカルテとして作成できる様式があり、配布され、多くの人が「わたしのカルテ」を持つようになると、関係者もカルテを見て活用できる、そういう仕組みができればよいと思った。研修に関しては、個人情報の問題がある中でどうやって活用していくか、例えば、「わたしのカルテ」の1枚目に個人情報の同意を本人が明記し、活用していく方法がある。個人情報保護について再確認し、上手くいった事例をとおして研修していくのも一つだと思う。これからも、認知症だけでなく、高齢者全体を考えていく必要があると思った。</p>
(事務局)	<p>地域の理解については、今回の講演会やその周知も含め啓発につながればと考える。地域の理解が広がりにくい難しさはあるが、今後も進めていきたい。また、「わたしのカルテ」のような情報共有のシートができればとの意見は以前よりあったが、取り組みまでに至っていない。他の医療機関などで作成しているとの情報もあり、関係者と一緒に活用しやすいものを作っていければと思った。研修については、今回の協議の内容をもとに、研修部会で協議していきたいと思う。</p>
(議長)	<p>以上で本日の議事を終了する。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>(閉会)</p> <p>次回の協議会は、来年の2月頃を予定している。</p> <p>以上で、令和6年度第1回「さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会」を終了する。</p>
--------------	---